

桜蔭俳話会

第一三〇回通信句会 選句結果

平成三十年夏。選句数は五句、うち特選一句。

(○内の数字は、特選数で、選句の内数です)

2点	声交す妻の亡くして涙夏	眞三	3点	枝豆に一振りモンゴル文字の塩	幸
5点①	老鶯や地蔵菩薩の耳豊か	幸	1点	読書する窓辺の少女花ざくら	幸子
9点④	蛩飛ぶこころの闇の処方箋	守	4点	涼しさいつもの位置に母の筆	才美
6点①	補欠子へ草笛の空あけてをく	才美	6点②	風死して百戸の出せる排気熱	のり子
1点	諏訪涼し鳥影写す八ヶ岳	則子		夕立にざわめき消えしキャンプの灯	明美
9点③	井戸水に地球漬けたき暑さかな	明美	1点	抱つこ紐の嬰兒眠る溽暑かな	ヤエ子
1点①	離婚する選択もあり火取虫	眞壽	7点①	風死すや言葉少なき避難民	友子
2点	阿弥陀仏の九体の影新樹光	友子		夏木立ひよいと現はる知つた顔	幸枝
3点	一瞬の母の眼光黄蝶追ふ	安紀子		妻のこと友に話す晴れて夏	眞三
5点②	解体の重機の爪や夏の雷	ツル子	2点	真昼時熱気に喘ぐ夏の蝶	邦子
3点①	母の日の母は花柄ワンピース	幸子	3点	先急ぐ蟻の列アスファルト	守
2点	むせ返る酷暑をはじく雨の音	邦子		日が経てば七月豪雨忘れ去る	直子
1点	若鹿の角つややかや夏の空	のり子	3点	夏猛る水滴も無き八ヶ岳	則子
	宇宙や火星接近ちちる虫	直子		喧噪の入る涼風や深呼吸	かほる
	鴨の子を狙う虎猫の一瞬	ヤエ子	1点	ソーダ水入れて飲む酒妻の酒	眞壽
	泥中のCD鳴るや夏豪雨	かほる	3点	先客のありしバス停片かけり	ツル子
1点	連理の枝梅雨を留むる大樹かな	幸枝	1点	読経ごと墓所にふりしく蟬時雨	安紀子
1点①	登り行く蟻の一連紅の底	ツル子			
2点	夏燕ビルのはさまの鎮守杜	友子			
1点	唾蟬や卒塔婆聞ひたり風の音	かほる			
4点②	風鈴の音が弔ふ被災の地	明美			
1点	猫の目やゴーヤチャンプル夏の夕	直子			
4点①	夏木立一氣に空の入れ替る	才美			
1点	足元で光る縦縞トカゲ消ゆ	邦子			
6点①	涼しさや風が風追う大草原	幸			
3点	薫風や背筋きりりと矢を放つ	安紀子			
	箸置いてもぼうつとふらつく大暑かな	幸枝			
	暑気払ひ新たな出会い胸は弾む	眞壽			
2点①	片陰の一つだに無き坂の道	ヤエ子			
1点	陽は昇り水面涼しき諏訪湖かな	則子			
	まだ柔き山女の骨や山の宿	のり子			
1点	凌霄花や風に言葉を残しけり	守			
2点	図書館に稚の泣き声若葉風	幸子			
1点	妻の亡くショック一段夏の朝	眞三			

「事務局からの知らせ」

○九月句会

九月二十三日(日)、午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)で行います。兼題は「爽か」。

また、当日、旭区俳句展出展の短冊と短冊掛けをお持ち下さい。

○十月句会

十月二十七日(土)、吟行します。句会場は、横浜市歴史博物館会議室。詳細は、追ってお知らせします。